

和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
ツバメシジミ	シジミチョウ科	羽裏のワンポイント	○	◎	○	全国



川崎市 7月22日 (2020年) ♂ 緑地の花壇のセンニチコウで吸蜜



川崎市 7月22日 (2020年) ♂ 光沢はヤマトシジミより強い



横浜市 3月23日 (2021年) メスは濃灰色が多いが
早春に時折、青い鱗粉が散った個体も混じる (アオメス)

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
○ 食草			食樹			発生回数/年			越冬形態		
シロツメクサ、コマツナギほか						4~6			幼虫		

ベニシジミに前後して早春に出てくる可憐なシジミチョウで、オスの羽の表は光沢のある紫青色であるのに対し、メスは濃灰色ですが時折写真のように早春の低温期には青い鱗粉が散った個体が混じります。尾 (尾状突起) を持つ蝶は多いのですがツバメの称号が与えられている数少ない蝶の一つです (ハイム内に生息している「ムラサキツバメ」というシジミチョウもこの例です)。



川崎市 3月27日 (2022年) ♂ オオイヌノフグリで吸蜜



川崎市 10月2日 (2023年) ♂ ミゾソバで吸蜜



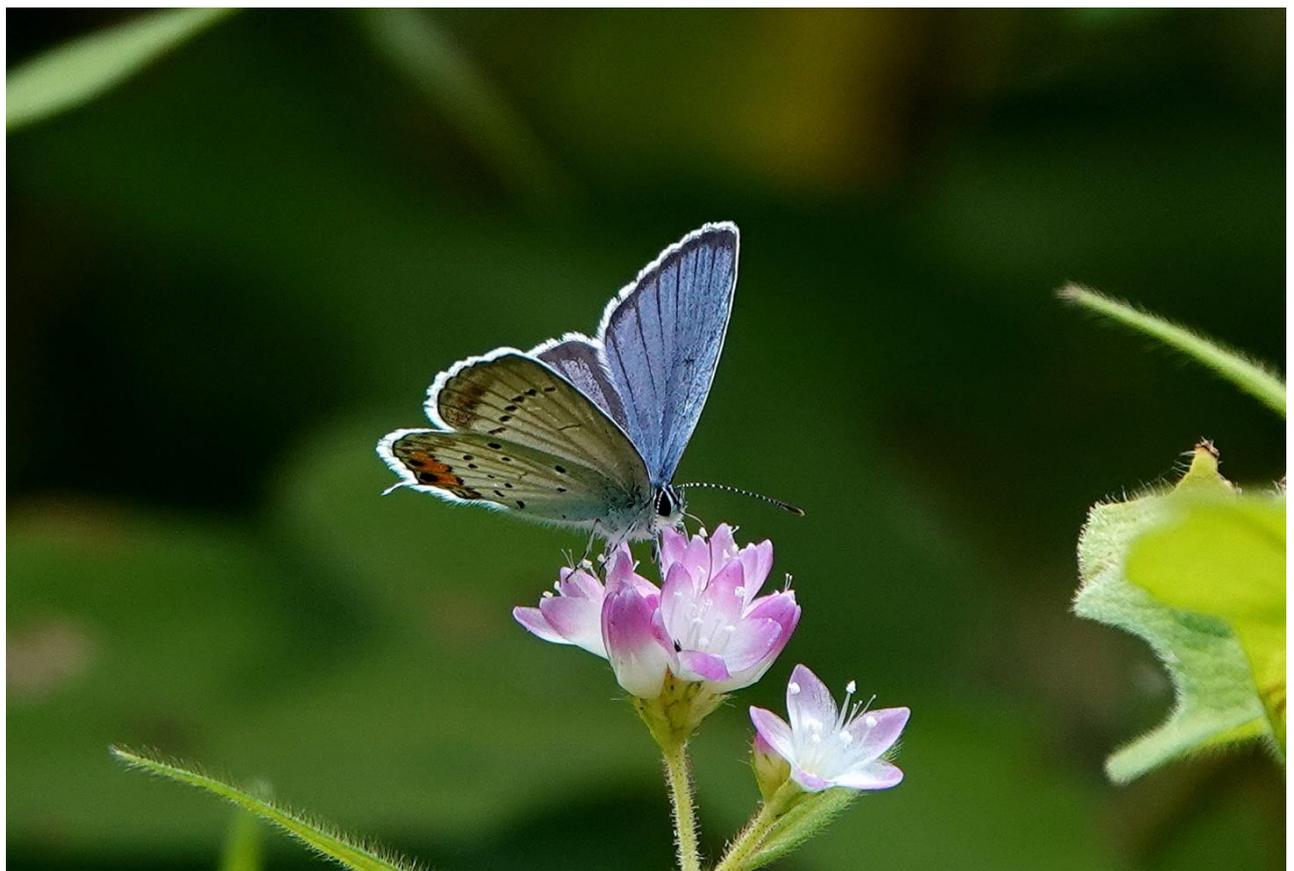
川崎市 多摩川土手（稲田堤）4月6日（2020年） 青藍の鱗粉が目立つ個体。アオメス



川崎市 多摩川土手（久地）9月22日（2021年）♂ アカツメクサで吸蜜



川崎市 10月2日 (2023年) ♂ 湿地のミゾソバで吸蜜



川崎市 10月2日 (2023年) ♂ 湿地のミゾソバで吸蜜